



1984年アカデミー

最優秀長編記録映画賞受賞 製作=ロバート・エプスタイン、リチャード・シュミーセン

スタジオ200ドキュメンタリー講座

The Times of Harvey Milk

ハーヴェイ・ミルク

"Immensely moving. Combines real emotional urgency with a most compelling grasp of the filmmaking craft."

VILLAGE VOICE

"A story told with urgency and passion."

NEW YORK TIMES

"Superb! A vivid, moving affirmation... a revelation of how one man can make a difference."

SAN FRANCISCO CHRONICLE

"A film for all of us."

LOS ANGELES TIMES

米国の弱者と少数派の自由のために闘い、そして遂に殉死したハーヴェイ・ミルクの、これは驚くべき実写である。

私はどんなサスペンス映画よりもドキドキした。

長沢 節 (イラストレーター)

ゲイというだけで異端視する人は多い。少数派だからで、在日韓国人、アイヌ、老人、身障者差別と共通している。さらに女性は、人口の半分以上いるのに性差別されている。ハーヴェイ・ミルクは、社会を底辺から揺さぶって、構造的差別のいろいろを否定した人だった。

林 冬子 (映画評論家)

これは単なるゲイの映画ではない、弱者の映画でもない、この映画は、(強者の中の)ふつう感覚にひそむ異常を訴つ、人間そのものの映画である。

波多野ゆき枝 (コピーライター)



ハーヴェイ・ミルク
彼の死にサンフランシスコの街は泣いた
彼がこたわったのは たったひとつ
Who am I?

前売好評につき追加上映決定

10月4日(火) } 17:00、19:00
5日(水)

会期: 1988年9月30日(金)・10月1日(土)・2日(日)

会費: 当日1300円(1000円) ()内は前売り・会員

*各回入替制、2回目以降の上映は連日11時より受付にて整理券を配布します。

会場: スタジオ200 (西武百貨店池袋店8階)

お問い合わせ・電話予約先: スタジオ200 TEL. 981-0111 (内)5328・9

主催: バンドラカンパニー、スタジオ200



池袋コミュニティ・カレッジの新しい体験教室
Studio 200
(西武池袋店8階)



*チケット取扱い: スタジオ200、チケット・セゾン(980)9999、チケット・びあ(237)9999、シネセゾン渋谷、シネヴィヴァン六本木、文芸坐しねぶていっく、チケットビューロー新宿

ハーヴェイが私たちにくれたものは 明日への希望と精気だった。

エッセンス

一九七八年十一月二十七日、サンフランシスコの夜の街を星が埋め尽くした。この日、ハーヴェイ・ミルクとマスコニー市長が市庁舎内で殺害されたのだ。四万五千もの人々が静かにロワンクを掲げ、暗殺された二人の冥福を祈った。「サンフランシスコの夜で、ましてや他人に囲まれているのに、自分の家にいる時と同じ安らぎを覚えた」キャンデルライト・マーチだった、と自動車工であり労働組合員のジム・エリオットは語る。

ハーヴェイ・ミルクは大学卒業後、海軍、証券アナリストを経て、ブロードウェイのプロデューサーとなり、その後、ベトナム反戦運動に関わるようになる。ニューヨークのゲイバー、ストーンウォールを警官が襲撃した事件から、ミルクはゲイ解放運動へと参加してゆく。サンフランシスコに移住した彼は、積極的に地域住民との関わりを持ち、ゲイとして初の市政執行委員に当選する。都市化(Manhattanization)によって移って来た(追い払われて来た)人々―黒人や他の有色人種、老人など―やゲイ、レズビアンたちが彼のアンテナとなり、草の根運動を展開。当初、ゲイだということだけで彼を毛嫌いしていた人々も、次第に彼の誠実さや、弱者のための行動を理解し始める。彼の最大の協力者は当時の市長、ジョージ・マスコニーだった。ミルクは彼の人生の絶頂期にあったが、不慮の出来事によって、マスコニー市長とともにこの世を去る。同じ市政執行委員であるタン・ホワイトによって殺害されたのだ。そして、裁判は驚くべき展開を見せる。...

1984年
★アカデミー最優秀長編記録映画賞受賞

★ニヨン映画祭グランプリ受賞
★アメリカ・フィルム・ライブラリー協会ブルーリボン受賞

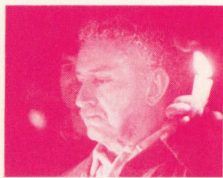


The Times of Harvey Milk ハーヴェイ・ミルク

1984年 16%カラー 87分 アメリカ映画
製作…ロバート・エプスタイン
リチャード・シュミール
編集…デボラ・ホフマン
ロバート・エプスタイン
ナレーション…
ハーヴェイ・フィアスタイン

ロバート・エプスタインは、33才。「ネバー・クライン・ウルフ」「ボディ・スナッチャー／恐怖の街」の編集及び編集助手、その他数々のドキュメンタリーを監督・編集・プロデュースしている。リチャード・シュミールも同様に多くのドキュメンタリーを手がけている。この映画は2人の共同監督・共同プロデューズによってつくられた。ナレーションのハーヴェイ・フィアスタインは、1984年にミュージカル「カーティス」の「フォー」の脚本でトニー賞を受賞している。

配給…パンドラカンパニー
東京都中央区新富2-15-11 正福寺ビル
TEL…03(555)3987



挑戦的で魅惑に満ちた素晴らしい映画である。スタッフの根気強さと見識が同性愛・異性愛の粹を取り払い、この感動的な映画を全ての人に意味あるものになっている。
—ロサンゼルス・タイムズ

緊張感・情熱・憤りをもって語られてゆく、心暖まる上質のドキュメンタリーである。
—ニューヨーク・タイムズ

美しく、力強く、そして意欲を高めてくれるのになぜか、もの悲しく怒りを呼び覚まされる。現代を生きるゲイの人々の日常と政治的葛藤を描いたドキュメンタリー。これはありきたりの映画ではない。個人の生き様が時代と重なり歴史を創り、芸術の域にまで高められた貴重な記録である。
—ネーション

タイムスケジュール

TIME	12	1	30	2	30	3	4	30	5	6	30	7	8	9
9/30(金)									上映	講演		上映		
10/1(土)						上映		上映	講演		上映			
10/2(日)	上映	講演		上映			上映					シボクム		

講演：杉浦孝昭(映画評論家) (9/30・金)
林 冬子(映画評論家) (10/1・土)
生井英考(文化史) (10/2・日)

□は「朝日ジャーナル・ライブ」になります。
こちらは有料招待制となりますので、ご応募等の詳細は9月発売の「朝日ジャーナル」誌上にて発表いたします。